



デバイス プロファイルの設定

デバイス プロファイルは、特定のデバイスに関連付けられている一連の属性（サービスや機能）から構成されます。デバイス プロファイルには、名前、説明、電話テンプレート、アドオン モジュール、ソフトキー テンプレート、機能設定、Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) 情報、電話番号、登録済みサービス、短縮ダイヤル情報などが含まれています。ユーザにユーザ デバイス プロファイルを割り当てると、ユーザがデバイスにログインしたときに、そのユーザに割り当てたユーザ デバイス プロファイルが、デフォルト ログイン デバイス プロファイルとしてそのデバイスにロードされます。ユーザ デバイス プロファイルが電話機にロードされると、電話機はそのデバイス プロファイルの属性を使用します。

ユーザ デバイス プロファイルは、特定のデバイスのデフォルト ログアウト デバイス プロファイルとして割り当てることができます。たとえば、ユーザが電話機からログアウトすると、ログアウト デバイス プロファイルが電話機にロードされ、ログアウト デバイス プロファイルの属性がその電話機に指定されます。[Cisco Unified CMの管理 (Cisco Unified CM Administration)] ウィンドウで、ユーザ デバイス プロファイルの作成、変更、削除を実行できます。ユーザ デバイス プロファイルがログアウト デバイス プロファイルとして使用されている場合は、ユーザ デバイス プロファイルを削除できません。

Cisco Unified Communications Manager は、デバイス プロファイル デフォルトもサポートしています。ユーザ デバイス プロファイルが存在しない電話機のモデルにユーザがログインするときはいつでも、デバイス プロファイル デフォルトを使用します。Cisco エクステンション モビリティをサポートする各電話機のモデルのデフォルト デバイス プロファイルを作成するには、[デフォルトのデバイス プロファイル設定 (Default Device Profile Configuration)] ウィンドウを使用します。デバイス プロファイル デフォルトの最大数は、Cisco エクステンション モビリティをサポートする電話機のモデルの数を超えることはできません。デバイス プロファイル デフォルトの詳細については、「[デフォルト デバイス プロファイルの設定](#)」(P.97-1) を参照してください。

デバイス プロファイルの検索と設定をするには、次のトピックを参照してください。

- 「[デバイス プロファイルの設定値](#)」(P.98-2)
- 「[デバイス プロファイルの検索](#)」(P.98-9)
- 「[デバイス プロファイルの設定](#)」(P.98-10)
- 「[デバイス プロファイルの削除](#)」(P.98-12)

デバイス プロファイルの設定値

デバイス プロファイルは、特定のデバイスに関連付けられている一連の属性（サービスや機能）から構成されます。デバイス プロファイルには、名前、説明、電話テンプレート、アドオン モジュール、ソフトキー テンプレート、機能設定、Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) 情報、電話番号、登録済みサービス、短縮ダイヤル情報などが含まれています。ユーザにユーザ デバイス プロファイル割り当てると、ユーザがデバイスにログインしたときに、そのユーザに割り当てたユーザ デバイス プロファイルが、デフォルト ログイン デバイス プロファイルとしてそのデバイスにロードされます。ユーザ デバイス プロファイルが電話機にロードされると、電話機はそのデバイス プロファイルの属性を使用します。

ユーザ デバイス プロファイルは、特定のデバイスのデフォルト ログアウト デバイス プロファイルとして割り当てることができます。たとえば、ユーザが電話機からログアウトすると、ログアウト デバイス プロファイルが電話機にロードされ、ログアウト デバイス プロファイルの属性がその電話機に指定されます。[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] ウィンドウで、ユーザ デバイス プロファイルの作成、変更、削除を実行できます。ユーザ デバイス プロファイルがログアウト デバイス プロファイルとして使用されている場合は、ユーザ デバイス プロファイルを削除できません。

Cisco Unified Communications Manager は、デバイス プロファイル デフォルトもサポートしています。ユーザ デバイス プロファイルが存在しない電話機のモデルにユーザがログインするときにはいつでも、デバイス プロファイル デフォルトを使用します。Cisco エクステンション モビリティをサポートする各電話機のモデルのデフォルト デバイス プロファイルを作成するには、[デフォルトのデバイス プロファイル設定 (Default Device Profile Configuration)] ウィンドウを使用します。デバイス プロファイル デフォルトの最大数は、Cisco エクステンション モビリティをサポートする電話機のモデルの数を超えることはできません。デバイス プロファイル デフォルトの詳細については、「[デフォルト デバイス プロファイルの設定](#)」(P.97-1) を参照してください。

始める前に

電話ボタン テンプレートが設定済みであることを確認してからデバイス プロファイルを設定してください。詳細については、「[電話ボタン テンプレートの設定](#)」(P.99-4) を参照してください。

表 98-1 では、[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウ内で使用可能な設定値について説明します。関連する手順の詳細については、「[関連項目](#)」(P.98-13) を参照してください。

表 98-1 デバイス プロファイルの設定値

フィールド	説明
[ユーザデバイスプロファイル情報 (User Device Profile Information)]	
[製品のタイプ (Product Type)]	このフィールドには、このデバイス プロファイルを適用する製品のタイプが表示されます。
[デバイスプロトコル (Device Protocol)]	このフィールドには、このデバイス プロファイルを適用するデバイス プロトコルが表示されます。
[デバイスプロファイル名 (Device Profile Name)]	固有の名前を入力します。この名前には、最長 50 文字まで指定できます。
[説明 (Description)]	デバイス プロファイルの説明を入力します。この特定のユーザ デバイス プロファイルを説明する内容を入力してください。

表 98-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[ユーザ保留 MOH 音源 (User Hold MOH Audio Source)]	<p>ユーザが保留操作を開始するときに再生されるオーディオソースを指定するには、[ユーザ保留 MOH 音源 (User Hold MOH Audio Source)] ドロップダウン リスト ボックスからオーディオソースを選択します。</p> <p>オーディオソースを選択しない場合、Cisco Unified Communications Manager は、デバイス プールに定義されているオーディオソースを使用します。または、デバイス プールがオーディオソース ID を指定していない場合は、システム デフォルトを使用します。</p> <p>(注) オーディオソースの定義は、[保留音オーディオソースの設定 (Music On Hold Audio Source Configuration)] ウィンドウで行います。このウィンドウにアクセスするには、[メディアリソース (Media Resources)] > [保留音オーディオソース (Music On Hold Audio Source)] の順に選択してください。</p>
[ユーザロケール (User Locale)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、その電話機ユーザ インターフェイスに関連したロケールを選択します。そのユーザ ロケールは、言語とフォントを含んだ、ユーザをサポートする一連の詳細情報を識別します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、ローカリゼーションをサポートする電話機モデルに対してだけ、このフィールドを使用可能にします。</p> <p>(注) ユーザ ロケールが指定されない場合、Cisco Unified Communications Manager はデバイス プールに関連付けられているユーザ ロケールを使用します。</p> <p>(注) 英語以外の言語で情報を (電話機に) 表示することをユーザが要求している場合は、ユーザ ロケールを設定する前に、ロケール インストーラがインストールされていることを確認します。Cisco Unified Communications Manager Locale Installer のマニュアルを参照してください。</p>
[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)]	<p>[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)] ドロップダウン リストから、電話ボタン テンプレートを選択します。</p> <p>ヒント プレゼンス モニタリングのためにプロファイルに BLF/ 短縮ダイヤルを設定する場合は、BLF/ 短縮ダイヤル用に設定した電話ボタン テンプレートを選択します。設定の保存後、[割り当て情報 (Association Info)] ペインに [新規 BLF SD を追加 (Add a New BLF SD)] リンクが表示されます。BLF/ 短縮ダイヤルの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」を参照してください。</p>
[ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]	[ソフトキーテンプレート (Softkey Template)] ドロップダウン リスト ボックスから、表示するソフトキー テンプレートを選択します。
[プライバシ (Privacy)]	<p>プライバシーを必要とする各電話機について、[プライバシ (Privacy)] ドロップダウン リスト ボックスから [オン (On)] を選択します。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「割り込みとプライバシー」を参照してください。</p>

表 98-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)



フィールド	説明
[ワンボタン割り込み (Single Button Barge)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オフ (Off)] : このデバイスで、ユーザはワンボタン割り込み /C 割り込み機能を使用できなくなります。 [割り込み (Barge)] : このオプションを選択すると、ユーザは電話機のワンボタン割り込みシェアドライン ボタンを押し、割り込みを使用してコールに割り込むことができます。 [デフォルト (Default)] : このデバイスは、サービス パラメータおよびデバイス プールの設定からワンボタン割り込み /C 割り込みの設定を取得します。 <p> (注) サービス パラメータとデバイス プールの設定が異なる場合、デバイスはサービス パラメータの設定から取得します。</p> <p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「割り込みとプライバシー」を参照してください。</p>
[回線をまたいで参加 (Join Across Lines)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オフ (Off)] : このデバイスで、ユーザは回線をまたいで参加機能を使用できなくなります。 [オン (On)] : このデバイスで、ユーザは複数の回線をまたいでコールに参加できるようになります。 [デフォルト (Default)] : このデバイスは、サービス パラメータおよびデバイス プールの設定から、回線をまたいで参加の設定を取得します。 <p> (注) サービス パラメータとデバイス プールの設定が異なる場合、デバイスはサービス パラメータの設定から取得します。</p> <p>詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「電話番号の概要」を参照してください。</p>

表 98-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オフ (Off)] : 電話機がアイドル状態になっているときにいずれかの回線でコールを受信すると、電話機のユーザは、コールを受信した回線からコールに応答します。 [オン (On)] : 電話機がアイドル状態 (オフ フック) になっているときにいずれかの回線でコールを受信すると、このコールにはプライマリ回線が選択されます。他の回線のコールの呼び出し音は鳴り続けます。電話機のユーザは、他の回線を選択してこれらのコールに応答する必要があります。 [デフォルト (Default)] : Cisco Unified Communications Manager は、Cisco CallManager サービスをサポートする Always Use Prime Line サービス パラメータの設定を使用します。
[ボイスメッセージには常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line for Voice Message)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [オン (On)] : 電話機がアイドル状態の場合に電話機のメッセージ ボタンを押すと、電話機のプライマリ回線がボイス メッセージを受信するアクティブな回線になります。 [オフ (Off)] : 電話機がアイドル状態の場合、電話機のメッセージ ボタンを押すと、ボイス メッセージが設定されている回線からボイス メッセージ システムに自動的にダイヤルされます。Cisco Unified Communications Manager は、ボイス メッセージが設定されている最初の回線を常に選択します。ボイス メッセージが設定されている回線が存在しない場合に電話機のユーザがメッセージ ボタンを押すと、プライマリ回線が使用されます。 [デフォルト (Default)] : Cisco Unified Communications Manager は、Cisco CallManager サービスをサポートする Always Use Prime Line for Voice Message サービス パラメータの設定を使用します。
[プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators、内線コールのみ)]	<p>コール表示制限を設定して、内部コールが受信するすべての表示制限を無視するには、[プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators、内線コールのみ)] チェックボックスをオンにします。</p> <p>ヒント この設定は、トランスレーション パターンレベルで発呼者回線 ID の表示と接続先回線 ID の表示の設定を組み合わせで使用してください。同時に、これらの設定値では、コール表示制限を設定して、各コールに対して発呼者回線または接続先回線の表示情報を選択的に表示、またはブロックできます。コール表示制限の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Call Display Restrictions 機能」の章を参照してください。</p>
[サイレント (Do Not Disturb)]	<p>Do Not Disturb (DND; サイレント) を有効にするには、このチェックボックスをオンにします。</p>

表 98-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[DND オプション (DND Option)]	<p>電話機で DND を有効にした場合、このパラメータでは、DND 機能が着信コールをどのように処理するかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [コール拒否 (Call Reject)] : このオプションは、着信コール情報をユーザに提示しないようにします。[DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] パラメータをどのように設定したかに応じて、電話機はピーブ音を再生したり、コールのフラッシュ通知を表示したりします。 [呼出音オフ (Ringer Off)] : このオプションは、呼出音をオフにしますが、着信コール情報はデバイスに表示するので、ユーザはコールを受け付けることができます。 [共通の電話プロファイル設定を使用 (Use Common Phone Profile Setting)] : このオプションは、[共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] ウィンドウの [DND オプション (DND Option)] の設定値をデバイスに使用するように指定します。 <p>(注) SCCP を実行している 7940/7960 電話機の場合、選択できるのは [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションだけです。モバイル デバイスとデュアル モード電話機の場合、選択できるのは [コール拒否 (Call Reject)] オプションだけです。モバイル デバイスまたはデュアル モード電話機に対して DND の [コール拒否 (Call Reject)] を有効にすると、コール情報はデバイスに表示されなくなります。</p>
[DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)]	<p>DND の [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションまたは [コール拒否 (Call Reject)] オプションを有効にした場合、このパラメータは電話機でコールを表示する方法を指定します。</p> <p>ドロップダウン リストから、次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [なし (None)] : このオプションは、[共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)] ウィンドウの [DND 着信呼警告 (DND Incoming Call Alert)] 設定値をデバイスに使用するように指定します。 [無効 (Disable)] : このオプションは、コールを通知するピーブ音とフラッシュの両方を無効にしますが、DND の [呼出音オフ (Ringer Off)] オプションの場合、着信コール情報が表示されます。DND の [コール拒否 (Call Reject)] オプションの場合、コールアラートは表示されず、情報はデバイスに送信されません。 [ピーブ音のみ (Beep Only)] : このオプションを選択した場合、着信コールがあると、電話機のピーブ音だけが再生されます。 [フラッシュのみ (Flash Only)] : このオプションを選択した場合、着信コールがあると、電話機のフラッシュアラートだけが表示されます。

表 98-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[クラスタ CSS 間のエクステンションモビリティ (Extension Mobility Cross Cluster CSS)]	<p>このドロップダウン リスト ボックスから、このデバイス プロファイルでクラスタ間のエクステンション モビリティ機能に使用する既存の Calling Search Space (CSS; コーリング サーチ スペース) を選択します (新しい CSS を設定したり、既存の CSS を変更したりするには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで [コールルーティング (Call Routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)] を選択します)。</p> <p>デフォルト値は、[なし (None)] です。</p> <p>組織内管理者がこの CSS を指定します。ユーザがこのリモート電話機にログインすると、指定された CSS がデバイス CSS として電話機に割り当てられます。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ」の章の「EMCC コールルーティング」を参照してください。</p>
[拡張モジュール情報 (Expansion Module Information)]	
[モジュール 1 (Module 1)]	<p>拡張モジュール フィールドの拡張モジュール ドロップダウン リストから電話テンプレートを選択して、このデバイス プロファイル用の 1 つまたは 2 つの拡張モジュールを設定できます。</p> <p>適切な拡張モジュールを選択するか、または [なし (None)] を選択します。</p>
[モジュール 2 (Module 2)]	<p>適切な拡張モジュールを選択するか、または [なし (None)] を選択します。</p>
[MLPP 情報 (Multilevel Precedence and Preemption Information)]	
[MLPP ドメイン (MLPP Domain)]	<p>このユーザ デバイス プロファイルを MLPP 優先コールに使用する場合は、ドロップダウン リスト ボックスから MLPP ドメインを選択します。</p> <p>(注) MLPP ドメインは、[MLPP ドメインの設定 (MLPP Domain Configuration)] ウィンドウで定義します。このウィンドウを開くには、[システム (System)] > [MLPP ドメイン (MLPP Domain)] の順に選択します。</p>

表 98-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[MLPP 表示 (MLPP Indication)]	<p>このユーザ デバイス プロファイルを MLPP 優先コールに使用する場合、[MLPP 表示 (MLPP Indication)] の設定値をデバイス プロファイルに割り当てます。優先トーンを再生できるデバイスが MLPP 優先コールの発信時にその再生機能を使用するかどうかを指定します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスから設定を選択して、このデバイス プロファイルに割り当てます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)] : このデバイス プロファイルは、関連するデバイスのデバイス プールから [MLPP 表示 (MLPP Indication)] の設定値を引き継ぎます。 • [オフ (Off)] : このデバイスは、MLPP 優先コールの表示の制御も処理もしません。 • [オン (On)] : このデバイス プロファイルは、MLPP 優先コールの表示を制御し処理します。 <p>(注) [MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [オフ (Off)] または [デフォルト (Default)] (デフォルトが [オフ (Off)] の場合) に設定し、かつ [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] を [強制 (Forceful)] に設定するという組み合わせで、デバイス プロファイルを設定することはできません。</p>
[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)]	<p>このユーザ デバイス プロファイルを MLPP 優先コールに使用する場合、[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] 設定をデバイス プロファイルに割り当てます。進行中のコールを優先できるデバイスが MLPP 優先コールの発信時にその優先機能を使用するかどうかを指定します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスから設定を選択して、このデバイス プロファイルに割り当てます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デフォルト (Default)] : このデバイス プロファイルは、関連するデバイスのデバイス プールから [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] の設定値を引き継ぎます。 • [無効 (Disabled)] : このデバイスは、優先順位の高いコールの完了に必要な場合、優先順位の低いコールを優先するようにしません。 • [強制 (Forceful)] : このデバイスは、優先順位の高いコールの完了に必要な場合、優先順位の低いコールを優先するようにします。 <p>(注) [MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [オフ (Off)] または [デフォルト (Default)] (デフォルトが [オフ (Off)] の場合) に設定し、かつ [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] を [強制 (Forceful)] に設定するという組み合わせで、デバイス プロファイルを設定することはできません。</p>

表 98-1 デバイス プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[ログアウト(デフォルト)プロファイル情報(Logged Out (Default) Profile Information)]	
[ログインユーザID(Login User Id)]	[ログインユーザID(Login User Id)] ドロップダウン リスト ボックスから、有効なログイン ユーザ ID を選択します。 (注) ログアウト プロファイルとしてデバイス プロファイルが使用される場合、その電話機に関連付けられるログイン ユーザ ID を指定します。ユーザがこのユーザ デバイス プロファイルからログアウトした後では、その電話機はこのログイン ユーザ ID に自動的にログインされます。

デバイス プロファイルの検索

手順

ステップ 1 [デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [デバイスプロファイル (Device Profile)] の順に選択します。

[デバイスプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Device Profiles)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「**ステップ 3**」に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索 (Find)] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.98-13) を参照してください。

デバイス プロファイルの設定

ユーザ デバイス プロファイルには、デバイス プロファイル名、説明、電話テンプレート、ユーザ ロケール、拡張モジュール、ソフトキー テンプレート、機能設定、MLPP 情報、電話番号、登録済みのサービス、および短縮ダイヤル情報などの属性が入っています。ユーザ デバイス プロファイルを追加または更新する手順は、次のとおりです。

始める前に

電話ボタン テンプレートが設定済みであることを確認してから手順に進んでください。詳細については、「[電話ボタン テンプレートの設定](#)」(P.99-4) を参照してください。

手順

ステップ 1 [デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [デバイスプロファイル (Device Profile)] の順に選択します。

[デバイスプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Device Profiles)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 既存のデバイス プロファイルをコピーする場合は、適切なデバイス プロファイルを見つけ（「[デバイス プロファイルの検索](#)」(P.98-9) を参照）、コピーするデバイス プロファイルの横にある [コピー (Copy)] ボタンをクリックして、「[ステップ 5](#)」に進みます。
- 新しいデバイス プロファイルを追加する場合は、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックします。[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。「[ステップ 3](#)」に進みます。
- 既存のデバイス プロファイルを更新する場合は、適切なデバイス プロファイルを見つけ（「[デバイス プロファイルの検索](#)」(P.98-9) を参照）、「[ステップ 5](#)」に進みます。



(注) デバイス プロファイルを更新する前に、更新するデバイス プロファイルが Cisco Unified Communications Manager に設定されていることを確認してください。

ステップ 3 [デバイスプロファイルタイプ (Device Profile Type)] ドロップダウン リスト ボックスから、デバイス タイプを選択します。[次へ (Next)] をクリックします。

ステップ 4 [デバイスプロファイルプロトコルの選択 (Select the device profile protocol)] ドロップダウン リスト ボックスが表示された場合は、デバイス プロファイルのプロトコルを選択します。[次へ (Next)] をクリックします。

- ステップ 5** 適切な設定値を入力します (「表 98-1」を参照)。
- ステップ 6** [保存(Save)] をクリックします。
- ステップ 7** [割り当て情報 (Association Info)] ペインから、デバイス プロファイルの電話番号、短縮ダイヤル、およびインターコム電話番号を設定できます。ここで説明する設定については、「[電話番号の設定](#)」(P.61-1)、「[Cisco Unified IP Phone の設定](#)」(P.92-1) および「[インターコム電話番号の設定](#)」(P.48-1) を参照してください。
- ステップ 8** [ボタン項目を変更 (Modify Button Items)] をクリックすると、[電話のボタンの並び替え設定 (Reorder Phone Button Configuration)] ウィンドウが表示されます。電話ボタン テンプレートのボタン項目を管理する場合は、このウィンドウを使用します。このウィンドウの適切な設定については、「[電話ボタン テンプレートのボタン項目の変更](#)」(P.92-46) を参照してください。



(注) ユーザ デバイス プロファイルに加えた変更を有効にするには、デバイスにログインする必要があります。

追加設定

[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウの右上の [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リストのリンクを使用すると、作成したデバイス プロファイルに関連する追加設定を実行できます。追加の項目を設定するには、次のリンクを参照してください。

- [新規ラインアピランスの追加 (Add a New Line Appearance)] : デバイス プロファイルに新規ライン アピランスを追加するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示され、このデバイス プロファイルに関連付けられた新規 DN を設定できます。このウィンドウのフィールドの詳細については、「[電話番号の設定値](#)」(P.61-1) を参照してください。
- [短縮ダイヤルの追加/更新 (Add/Update Speed Dials)] : デバイス プロファイルに関連付けられた短縮ダイヤル設定を追加または更新するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[短縮ダイヤルと固定短縮ダイヤルの設定 (Speed Dial and Abbreviated Dial Configuration)] ウィンドウが表示され、このデバイス プロファイルに関連付けられる短縮ダイヤルを設定できます。このウィンドウの設定の詳細については、「[短縮ボタンまたは固定短縮ダイヤルの設定](#)」(P.92-41) を参照してください。
- [ビジーランプフィールド短縮ダイヤルの追加/更新 (Add/Update Busy Lamp Field Speed Dials)] : デバイス プロファイルに関連付けられたビジー ランプ フィールド短縮ダイヤル設定を追加または更新するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[ビジーランプフィールド短縮ダイヤルの設定 (Busy Lamp Field Speed Dial Configuration)] ウィンドウが開き、このデバイス プロファイルに関連付けられるビジー ランプ フィールド短縮ダイヤルを設定できます。このウィンドウの設定の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[BLF/短縮ダイヤル ボタンの設定](#)」を参照してください。
- [ビジーランプフィールドダイレクトコールパークの追加/更新 (Add/Update Busy Lamp Field Directed Call Park)] : デバイス プロファイルに関連付けられたビジー ランプ フィールドダイレクトコールパーク設定を追加または更新するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[ビジーランプフィールドダイレクトコールパークの設定 (Busy Lamp Field Directed Call Park Configuration)] ウィンドウが表示され、このデバイス プロファイルに関連付けられるビジー ランプ フィールド/ダイレクトコールパークの設定を設定できます。このウィンドウの設定の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「[BLF/ダイレクトコールパークの設定項目](#)」を参照してください。

- [サービス URL ボタンの追加または更新 (Add/Update Service URL Buttons)] : デバイス プロファイルに関連付けられたサービス URL ボタンを追加または更新するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[サービス URL ボタンの設定 (Configure Service URL Buttons for)] ウィンドウが開き、このデバイス プロファイルに関連付けられたサービス URL ボタンを設定できます。このウィンドウの設定の詳細については、「[サービス URL ボタンの設定](#)」(P.92-44) を参照してください。
- [サービスの登録 / 登録解除 (Subscribe/Unsubscribe Services)] : デバイス プロファイルに関連付けられた IP Phone サービスを登録または登録解除するには、このリンクを選択して [移動 (Go)] をクリックします。[登録済みの Cisco IP Phone サービス (Subscribed Cisco IP Phone Services)] ウィンドウが表示され、このデバイス プロファイルに関連付ける Cisco IP Phone サービスを登録または登録解除できます。このウィンドウの設定の詳細については、「[IP Phone サービスの設定](#)」(P.92-42) を参照してください。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.98-13) を参照してください。

デバイス プロファイルの削除

ユーザ デバイス プロファイルを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイス プロファイルがデバイスに割り当てられている場合、そのデバイス プロファイルは削除できません。デバイス プロファイルを使用しているデバイスを検索するには、[デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リストボックスから [依存関係レコード (Dependency Records)] リンクを選択します。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2) を参照してください。使用中のデバイス プロファイルを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager ではメッセージが表示されます。現在使用されているデバイス プロファイルを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するデバイス プロファイルを使用しているデバイスすべてに、別のデバイス プロファイルを割り当てます。
- 削除するデバイス プロファイルを使用しているデバイスを削除します。

手順

-
- ステップ 1** 削除するユーザ デバイス プロファイルを検索します。「[デバイス プロファイルの検索](#)」(P.98-9) を参照してください。
- ステップ 2** [デバイスプロファイルの設定 (Device Profile Configuration)] ウィンドウで、[削除 (Delete)] をクリックします。
- この操作を実行すると取り消せないことを確認するメッセージが表示されます。
- ステップ 3** デバイス プロファイルを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル (Cancel)] をクリックします。



(注) ユーザ デバイス プロファイルが、デフォルトのログアウト デバイス プロファイルとして設定されている場合は、そのデバイス プロファイルを削除できません。ログアウト デバイス プロファイルを削除する場合は、そのデバイス プロファイルに対するログアウト デバイス プロファイルの指定を変更し、別のデバイス プロファイルをその電話機のログアウト デバイス プロファイルとして設定する必要があります。ユーザ デバイス プロファイルがログアウト デバイス プロファイルではなくなった後、削除できます。

追加情報

「関連項目」(P.98-13) を参照してください。

関連項目

- 「デバイス プロファイルの設定値」(P.98-2)
- 「デバイス プロファイルの検索」(P.98-9)
- 「デバイス プロファイルの設定」(P.98-10)
- 「デバイス プロファイルの削除」(P.98-12)

電話番号

- 「電話番号の設定」(P.61-1)
- 「電話番号の設定値」(P.61-1)

回線をまたいで参加

- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「電話番号の概要」

ワンボタン割り込み/IC 割り込み

- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「割り込みとプライバシー」

プレゼンス

- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」

ダイレクト コールパーク

- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「コールパークとダイレクト コールパーク」

電話機の設定

- 「Cisco Unified IP Phone の設定」(P.92-1)

Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ

- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco クラスタ間のエクステンションモビリティ」

